

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立椿井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 630 - 8343
奈良市椿井町25

E-mail : tsubai-e@naracity.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 115名 女子 100名 合計 215名
 児童・生徒の年齢 歳～ 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、「世界にはばたく椿井っ子」という教育目標のもと、

- ・ 自分の地域や他の地域、文化に興味を持ち、それを理解し尊重することのできる能力や態度を育てる。
- ・ 自分の異なる生き方や考え方をする他者の存在を認め、尊重することのできる能力や態度を育てる。
- ・ 自分の考えをはっきりと表現したり、主体的に意志を通い合わせたりすることのできる能力や態度を育てる。

この3つの視点から学習活動を進めている。

- ・ 低学年の生活科や中・高学年の総合的な学習の時間では、身近な地域について体験学習や調べ学習を行った。
また、国際理解教育を1年生から行い、ゲームや歌などの体験活動を通して取り組んだ。また、高学年では、英語を使った表現と発表活動などに取り組んだ。具体的な取り組みは以下のとおりである。

(4年生)

「環境教育」

- ・ 猿沢池の水質や生き物について、須磨水族園から来ていただいた講師に指導してもらい、古都の池を守り、伝えることの大切さと環境について学習することができた。

(5年生)

「世界遺産学習」

- ・ 地域のボランティアガイドさんとともに、東大寺、薬師寺、興福寺、唐招提寺、平城宮跡の現地見学を行い、新聞にまとめた。子どもは、さらに深く世界遺産や地域の文化や建造物について調べたいと意欲を示した。

「ユネスコスクールについて」

- ・ ユネスコスクールの活動や概要について学習を行った。自分たちにできることを考えさせ、書き損じはがき集めを行った。

(6年生)

「世界遺産学習」

- ・ 地域の世界遺産や文化遺産、伝統産業についてグループごとにまとめ、パワーポイントや新聞にまとめた。また、海外に向けて発信することを意識し、英語版の制作にも取り組んだ。
- ・ 11月23日 中学校区の「子ども未来会議」に参加し、子どもたちによる世界遺産・地域遺産の発表を行った。

「国際理解」

- ・ マニラ赤新月社の方々やオーストラリアエンズリー校の校長先生との交流を通して、世界の様子をした。」

- ・ ソウルの小学校とスカイプで交流を行った。

「平和学習」

- ・ 「大阪空襲について」「広島原爆について」戦争体験者の方をお招きし、お話を聞いた。
- ・ 戦争についてグループごとに、調べ学習を行い、パワーポイントなどを用いて全校児童に対して発表を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）